

会 議 要 旨

会 議 名	平成29年度第3回 館山市コーラル会議
開 催 日	平成29年12月14日(木) 午前10時～午後0時15分
開 催 場 所	館山市役所 本館2階会議室
出 席 者	<p>[講師]NPO法人パートナーシップながれやま 代表 山口 文代氏</p> <p>[委員(敬称略 50音順)]合計9名(欠席 4名)</p> <p>飯島 マルティーンズ 石井 敏宏 石渡 秀嗣 清本 智美</p> <p>鈴木 ひとみ 関野 裕子 滝口 力 土岐 明美 室 厚美</p> <p>[千葉県]総合企画部男女共同参画課 森田主事</p> <p>[市]総合政策部企画課 網城課長、長谷川政策係長、大賀主任主事</p> <p>経済観光部商工観光課 渡辺主事</p>
公開・非公開の別	公 開
傍 聴 人 数	0名(定員10名)
会 議 内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 企画課長あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 男女共同参画推進計画等について</p> <p>講師の山口文代氏から、資料に従い、計画策定に関することや、男女共同参画を取り巻く状況等について説明。</p> <p>(2) 第4期館山市男女共同参画推進プランの将来像や事業内容等に関する討議</p> <p>第4期館山市男女共同参画推進プランの体系案(「資料1」)、事業案(「資料2」)及び数値指標案等の内容について討議を行った。</p> <p>○講師や委員から出た意見等</p> <p>【将来像の案について】</p> <p>「多様な個性と能力を認め合い、皆が生き生きと活躍できる社会の実現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「多様な個性」はおそらくLGBTなど、「男」「女」という枠にはまらない人たちも想定したもので、老若男女全てを包含しており、良いと思う。 ・将来像の案には賛成。ジェンダー・ギャップ・インデックスにおける日本の順位は、年々下がっているが、政府の考え方全てが(順位低下に)影響していると思う。 ・「社会の実現」とあるが、社会という言葉は少し対象が大きすぎる。「館山」などにしてみてもどうか。 ・実行計画では、館山オリジナルの施策等を打ち出していくため、社会でも館山

でもどちらでもよいのではないか。

【その他、体系や個別の事業について】

- ・施策に「性別等による固定的役割分担意識の解消」とあるが、力強い言葉で踏み込んでおり良いと思う。
- 一般的には「性別等による固定的役割分担意識」ではなく、「固定的な性別役割分担意識」等になるので、文言を修正すべき。
- ・少数者を大切に作る姿勢が大切だと思う。計画のどこかにLGBTのことを盛り込むべき。たとえば学校教育等か？
- 学校教育より、人権の分野に入ってくるのではないか。
- ・施策に「ハラスメントを許さない意識づくり、環境づくり」とあるが、ハラスメントにも様々な種類があるので、「全ての・・・」という文言を入れるべき。
- ・引きこもりの人が増えている。現在は親に養ってもらっているケースも多いが、10年後には同世代の人が養っていくことになることが予想される。これらの人の社会復帰支援について、計画のどこかに入れることはできないか。
- 入れるとすれば、教育・福祉の分野か。
- 男女共同参画の計画は、性差や役割差などを解消していくためのもの。それらとの関連性が薄く、ぼやけてしまうと思う。
- 入れるとすれば、関連性をはっきりさせるべき。
- 教育、福祉・・・といった「縦軸」を横方向に串刺しにするのが男女の計画。この横串の中に、引きこもりの話題も入ってくるのではないか。
- LGBT同様、事業計画の方に入ってくるのではないか。
- ・課題に「男女共同参画による市政の運営」とあるが、これには審議会の女性割合や女性管理職の割合アップ等の施策が入るのか。
- その通り。
- 女性リーダーがいて当たり前という社会を作る必要がある。
- 割当制度などの導入も検討すべき。
- 審議会の女性割合増加などについては、選ぶ際に意識すれば良いので、行政で取り組める施策である。
- 「市政」という表現は再検討すべきではないか。
- ・市役所の管理職における女性割合が少ないのは不思議。公務員は女性が働きやすい職場であると思うのだが。
- 松戸市では、国から派遣されてきた女性の助役がポジティブ・アクション計画を作り、各課に最低3人程度女性職員が配置されるようになった（偏りが生じ、女性職員がゼロの課もできてしまったが・・・）
- 館山市では、10年程度女性職員の採用が無かった時期があり、そのせいで女性割合が少ないのだと思う。時間が経過すれば、女性割合も増えていくものと考えられる。
- ・市議会議員の女性割合に関する目標値を入れられないか。
- 選挙で選ばれる議員に関する目標値を入れるのは不可能。
- 自民党や社民党は、「選挙の際、女性の候補者に出馬を依頼する」という目標設

定をしている。

→課題の「政策・方針決定過程への女性の参画」に議会のことも含めていくべきではないか。

- ・課題に「男女共同参画の意識づくり」とあるが、10年間の計画と考えたとき、これでいいか。意識改革等にすべきではないか。国は、「男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識改革」としている。
- ・「役割分担意識」等において、再掲されている事業がいくつかあるが、他の自治体においても、今は再掲しないことが多い。役割分担意識の話は再掲しようと思ったら全ての分野に関わってくる。再掲は無くても良いのではないか。
- ・施策で「学校教育等における男女共同参画の啓発」とあるが、学校教育ではなく、「教育分野」等、少し広い範囲を示す言葉にすべきではないか。その中には生涯学習について入れるべきではないか。
- ・事業の中で「PTA等への男女共同参画意識の啓発」とあるが、PTAの構成メンバーは市民なので、PTA組織の問題とするのはいかがか。
- ・「性別にとらわれない多様な選択を可能にするキャリア教育の推進」は非常に良い。
- ・「情報（モラル）教育の推進」とあるが、男女共同参画の計画ではあまり見ない。モラル＝道徳であり、勘違いする人がいるかも。むしろ、「人権教育」等に改めたほうが良いのではないか。
- ・「防災計画の策定や避難所運営に関する女性参画の推進」については、事業の説明をしっかりとさせ、女性参画の重要性を周知すべき。可能であれば、その手段についても記載できればなお良い。
- ・男性側の働き方の見直し等、男性における取組も入れるべき。たとえば、市役所男性職員の育児休暇取得推進など。
- ・施策の中に「性と生殖に関する健康と権利への理解の推進（リプロダクティブ・ヘルス・ライツ）」については、市民が見ても分からない。「学校における発達段階に応じた適切な性教育の実施」は人権の領域に、「妊娠・出産に関する正しい知識の啓発」は健康の領域に持っていけば、施策設定が不要になるのではないか。
- ・計画の推進体制が大切。館山では男女共同参画を推進する団体は無いようだが、たとえば、そうした市民団体を育成する等、官民協働で男女共同参画を進めていくという視点を入れるなど、推進体制を充実させるべき。また、市職員の男女共同参画の推進という視点も必要。各課との対話や、コーラル会議の連携なども大切。
- ・事業案など、これまでにももらった資料を見ていると、施策や事業は幅広い領域に関する記載があるが、働く女性に対する具体的なフォロー対策があまり無い。たとえば、男性の育児休暇取得者へのフォロー対策。取れないなら、取れない理由などをはっきりさせ、課題に対する具体的な解決策を提示すべきではないか。この部分が、市民にしっかり届いていないと感じている。

→その通りだが、市民の側から行政にアプローチし、掲げられている目標等に関

し、どの程度進んでいるのか（進んでいないのか）や、解決策をどのように考えているか等について確認していくことも重要である。

- ・女子大では、スタッフも学生も女性。重い荷物の運搬など、全てのことを女性がやっている。

【出された意見等を踏まえ、事務局から】

- ・本日の会議で出された話に加え、追加の意見を出席者・欠席者双方に照会させていただくので、ご協力いただきたい。
- ・照会の結果を踏まえ、次回会議までに事務局で素案を作成する。
- ・次回会議では素案の内容について討議し、その後パブリックコメントを実施する予定である。

4. その他

【千葉県男女共同参画推進員地域イベント（12月3日 イオンモール木更津で行われた「南房総ふれあいフェスタ」）について】

（鈴木ひとみ委員）

- ・各市町のマスコットキャラクターや、地域で活躍する音楽・ダンス団体等に出演いただき、多くの方に見ていただくことができた。
- ・会場では、家事の分担等に関する簡単なアンケートを行ったが、「主に妻が行う」とした割合が非常に高く、本日も話題になったが、課題であると感じた。
- ・今後もイベントを開催するので、ご協力いただき、機会があれば足を運んでいただきたい。

【事務局から】

- ・次回会議については、2月初旬、5日から7日あたりで考えているがどうか。
→2月7日の方向で調整させていただく。

5. 閉会